

大勢の方にお越しいただき、ありがとうございました。

平成 29 年 12 月 2 日にゆいの森あらかわにて「不燃化特区 防災まちづくりフェア」が開催されました。

防災まちづくりフェア



① オープニング 子どものかつやくのおはなし

石川永子先生（横浜市立大学）
災害時の小中学生の活躍事例・アイデア、またそれを見守る大人の心構えについてお話がありました。

② 基調講演

「首都直下地震～避難生活の切り切り～
事前の備えと助け合いのアイデア」

石川永子先生から、次のようなお話がありました。



区内の地域性を踏まえて、必要な備えをしておきましょう
●一瞬で生死を分ける自宅の耐震化は最重要事項。比較的簡易な対策もあるのでぜひ検討してほしい。
●避難所で、多様な人が安心して過ごせる配慮が必要。
●都心では、避難所ではなく在宅避難の方も多くなる。当たり前だったサービスが止まるので、自助対策が大切。

③ 防災ワークショップ 「蓄光ねんどでつくろう」



暗闇で光るねんどで、大事な物を見つけやすくするアクセサリ等を作りました！

④ アニメ上映 「東京マグニチュード 8.0」



ハンカチを手にご覧になった方も多かったのでは？

⑤ ゆいの森 防災見学ツアー



免震装置などを見学しました。

⑥ 消防体験



ホースをしっかり持てば大丈夫！

煙は上にたまるから腰をおとして！

⑦ まちづくり パネル展示



・荒川二・四・七丁目地区
・町屋二・三・四丁目地区
・荒川五・六丁目地区
・尾久中央地区
の防災まちづくり事業を紹介しました。

⑧ スタンプラリー



スタンプ集めて景品と交換！
～一番人気はようかんでした～

建築相談ステーション

- ① 住まいの相談、建替え相談
- ② 密集事業や不燃化特区の情報提供

4月からご利用方法が変わります！

水曜、木曜の 17 時～20 時 予約制 となります



防災センター1階

お問い合わせ(事務局)

荒川区役所北庁舎
防災都市づくり部 防災街づくり推進課
おおぬま おんだ
大沼、恩田
電話：(03)3802-3111 (内線)2829
FAX：(03)3802-4104

地震などの災害に強いまちを目指して 荒川二・四・七 まちづくりニュース

第30号

平成30年2月編集発行
荒川二・四・七防災まちづくりの会

荒川二・四・七防災まちづくりの会では、旧荒川図書館跡の公園計画のための事前調査(まち歩き、アンケート等)を実施しました。

まちづくりの会の活動として、当面、旧荒川図書館跡地の公園計画が大きな議題となっており、地区全体の防災まちづくりの話と、二本立てで進めています。



<今年度の活動報告>

第1回全体会	7/31(月)	旧荒川図書館跡周辺の課題等検討
第2回全体会	10/14(土)	荒川らしさ発見 昭和のまちの記憶マップ作り (次頁参照)
アンケート実施	12~1月	旧荒川図書館近隣アンケート (下記)
第3回全体会	2/21(水)	今年度のまとめ、公園前提条件意見交換 (次頁参照) 地区全体の防災まちづくり事業進捗説明



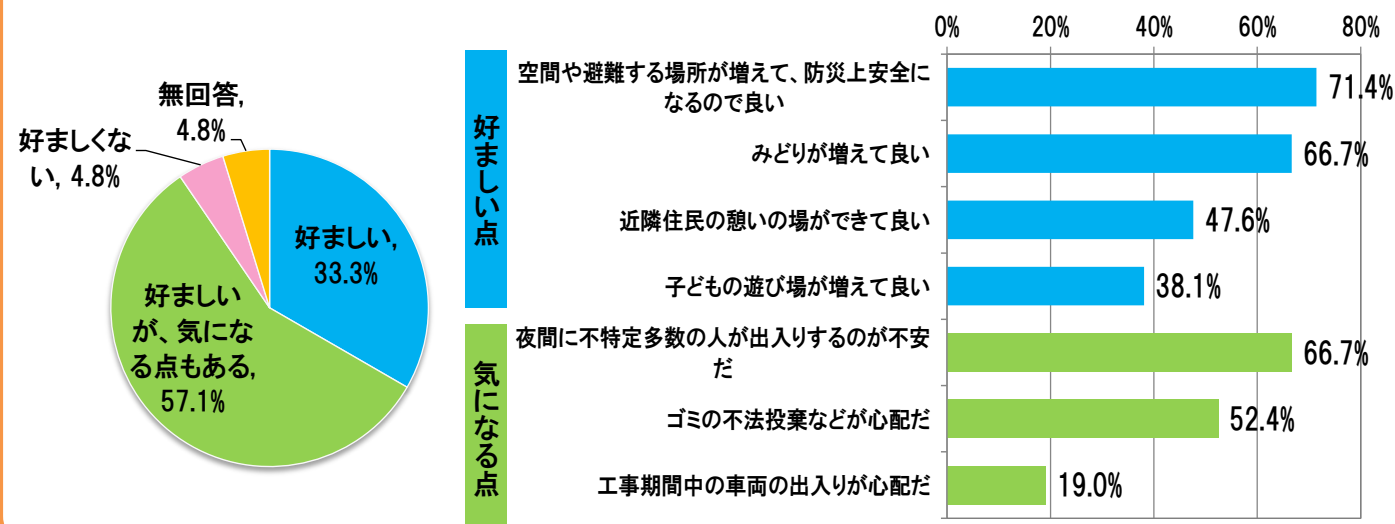
<来年度の活動予定>

来年度は3回の協議会の開催を予定しています。そのうちの2回程度は公園計画ワークショップを実施したいと考えています。地区内の全戸に配付している当ニュースでもご案内やご報告をいたしますので、ご一読ください。

<公園予定地近隣アンケート調査結果(概要)>

調査期間：平成29年12月14日～1月30日
対象：公園予定地の近隣にお住まいの方、土地や建物の権利をお持ちの方
配布数：69 回収数 21 回収率：30.4%

公園の近隣にお住まいの方に、公園整備について気になる点などについて伺いました。



第2回全体会 荒川らしさ発見 昭和の記憶マップ作り

荒川区ホームページの「あらかわ思い出写真館」の写真を使用しました。
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kanko/omoidesyasinokann/index.html>

まち歩きと、昭和40年代～50年代のまちの記憶をもとにしたマップです。「記憶」地図のため、部分的に史実と違う点があるかもしれません。ご了承下さい。

3つのグループに分かれてまちを歩いて荒川らしさを発見し、昭和30～50年代の写真、映像、地図を見ながら、まちの記憶を辿ってマップ作りを行いました。

町屋駅
 京成線町屋駅の改札口で「かつぎ屋さん」(行商)がいろいろ売っていた。野菜果物のほか、お餅などもあった。
 都電のホームに商店が連続していた。
 センターまちやに現在よく行く。

荒川七丁目
 元松竹館
 元きび団子屋さん(屋合)
 アクロスあらかわ 喫茶コーナーを利用できる。
 遊び場だった細い路地。かつては通り抜けができたが、現在は塞がれてしまった。
 現アクロスあらかわ

荒川四丁目
 野崎浴場
 生協診療所 名称は変わったが、昔から診療所
 以前はメッキ工場 現在はゆいの森
 元富士見湯
 第二峡田小学校
 密蔵院
 旧荒川図書館 今後公園
 御神輿のルートも江戸道沿い
 蓮田子育て六地藏
 元三山館 かつてあった寺から、倉庫として借りている

三河島七丁目
 「三河島七丁目南町会」の碑
 宮地ロータリー (昭和32年)
 宮地ロータリー周辺には家具屋さんが多かった。また、明治通り沿いに銀行が多かった。
 荒川仲町通り商店街 (昭和45年)
 千代田線町屋駅が出来、再開発ビルが出るまでは、買い物は明治通りを越えた仲町通り商店街に通ったものだった。

町屋駅付近 藍染川 (昭和30年初)
 遊び場だった細い路地。かつては通り抜けができたが、現在は塞がれてしまった。

現アクロスあらかわ
 以前は長屋 → 都営アパート 現在はコンクール助屋(賃貸住宅)

仙光院と峡田小学校跡 (初代荒川区役所跡)
 三河島村役場、初代区役所前の道

大規模な土地利用転換

土地利用の大きな変化があった箇所
由緒ある寺社等
長く営業している場所 変わらない場所等

この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1地形図を利用して作成したものである。(承認番号)29 都市基査第84号

<まちの歴史について>

- ・映画館 松竹館(町屋1丁目)、三山館(荒川3丁目)があった。
- ・千代田線開通や駅前再開発により、外出先が変わっていた。
- ・町屋駅前の行商や、生協診療所前の通りにあった花屋、豆腐屋、肉屋など、多くのお店がなくなった。

<昔の買物事情について>

- ・明治通り南側の仲町商店街をよく利用していた。エプロンをつけてカゴを持って買物に行ったものだった。
- ・昔は御用聞きや牛乳、豆腐などの訪問販売が多くあった。
- ・売り手と話しているとつい買ってしまおうというもあった。今はスーパーに行くことが多い。

荒川七丁目グループ



<まちの歴史について>

- ・かつては、床屋、駄菓子屋、お風呂屋などいろいろな店があった。
- ・通り抜けできる道あったが、少しずつ狭くなったり塞がったりしていた。

<昔の子どもの遊びについて>

- ・かつては公園がなく、路地や敷地内で遊んだ。そこには大人や年長者の目があり、見られていることによる安心もあった。
- ・今の子ども達は公園などの場所と、自転車などの交通手段には恵まれているが、安心感につながる地域の目がない。
- ・町会活動を通じて、世代間の交流を推進していきたい。
- ・公園づくりについても、大人の見守りなどにより、子供たちが安心して遊べる環境をつくりたい。

荒川二丁目グループ



<まちの歴史について>

- ・「三河島」はいい名前。大事な町名。
- ・藍染川はあった頃は臭かった。暗渠になり良かった。
- ・污水处理は東京で一番早く進んだまちである。
- ・今の細い道は、昔は畔だった。

<防災やコミュニティについて>

- ・老朽化して地震時の倒壊が不安な建物がある。
- ・簡易宿泊施設の建替計画があり、生活のルールが守られるか不安がある。
- ・江戸道がどこまで続いているのか知るために「江戸道ツアー」をやりたい!
- ・防災も、まちの歴史と合わせて取り組むとよい。
- ・まちの歴史をきっかけにお互いの繋がりを深め、防災に強いまちにしていこう!

荒川四丁目グループ



第1回全体会 公園予定地近隣まち歩き

- ・道路との接続が悪いのが公園として弱点。まわりに行き止まり路が多いので、公園を通り抜けられるとよい。
- ・公園に避難場所として逃げ込めるように、公園周辺の建物を燃えにくい建物にしていく必要がある。
- ・防犯上の観点から、公園は夜間閉鎖してほしい。
- ⇒防災上いつでも逃げ込めるようにする必要があるので鍵をかけるのはよくない。
- ・公園ができた場合、ゴミが投棄される恐れがある。

公園予定地近隣アンケート調査 (自由意見より)

<周辺の道路・出入口について>

- ・まわりの行き止まり路を広げ、緊急車両が入りやすくなるとよい。
- ・私道については居住者以外の通り抜けは不適切だと思う。
- ・防犯上の観点から、出入口は大きく、何か所も取ってほしい。
- ・見通しをよくしてほしい。

<公園の整備内容>

- ・緑地を多くとってほしい。
- ・防災設備がほしい。
- ・夜間照明や防犯カメラなど設置してほしい。
- ・トイレはなくてもよい。
- ・施設があったほうが人がいて安心。

<公園の維持管理>

- ・夜中に人が騒いで、落ち着いた雰囲気壊れるのではないかと不安だ。
- ・夜間に不特定多数の人が出入りするの不安だ。
- ・ゴミの不法投棄、落書きなどが心配だ。
- ・工事騒音や振動が心配だ。
- ・パトロールしてほしい。
- ・維持費を抑えるべき。

第3回全体会 意見交換

- ・裏を向いた家に囲まれており、一般的な開放的な公園とは違うものになると思う。
- ・公園ワークショップの参加者が、開放的な公園のイメージを持って議論すると後で分かりやすいので、誤解のないようにすべき。防災上の空地や小径といった表現の方がふさわしいかもしれない。
- ・地域の防災まちづくり意識をもっと高める活動が必要。

